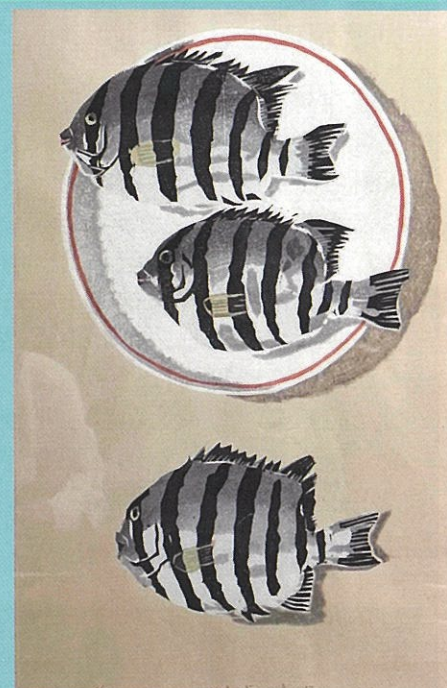




亀崎の 版画教育

～版画の神様、平塚運一が訪れたまち～

2026年 10月31日(土)～12月20日(日)

開館時間／10：00～17：00（最終入館16：30）

入館料／一般 500円 小中学生 200円

一般財団法人 立川内匠会



立川美術館

0569-29-5897 愛知県半田市亀崎町6-81

主催 一般財団法人立川内匠会
後援予定 愛知県教育委員会 半田市教育委員会 松江市教育委員会 大府市教育委員会 東海市教育委員会
知多市教育委員会 常滑市教育委員会 碧南市教育委員会 東浦町教育委員会 阿久比町教育委員会
武豊町教育委員会 美浜町教育委員会 南知多町教育委員会 愛知県観光協会 半田市観光協会
愛知県登録有形文化財建造物所有者の会 亀崎郷土文化協議会「海と蔵の会」 亀崎発展会
中日新聞社 (株)CAC

亀崎の 版画教育

～版画の神様、平塚運一が訪れたまち～



児童版画ことはじめ

昭和初期から戦前にかけて、亀崎小学校をはじめとした知多半島内の各小学校では児童版画教育が盛んに行われてきました。その始まりは、当時亀崎小学校の教頭で手工科の教員であった大岩忠一と、情操教育に熱心であった富田伴作校長が、当時すでに「版画の神様」と称されていた平塚運一を亀崎小学校に招いたことからです。招かれた平塚は、昭和3年(1928)から10数年に渡りほぼ毎年のように知多半島を訪れて指導しました。児童らはあらゆる日常に題材を求め、海や蔵など亀崎ならではのモチーフを版画で表現し、多くの作品が生まれました。

今回の企画展では、平塚運一の作品とともに平塚の指導を受けた岩田覚太郎、鈴木幹二の作品、当時の亀崎小学校児童の作品を展示するとともに、平塚運一らが熱心に取り組んだ版画教育の歴史などを紹介いたします。児童たちの自由で生き生きとした表現が伝わってくる作品をぜひご観覧ください。



亀崎の版画教育をまとめた
「児童版画事始」



鈴木幹二



岩田覚太郎



海と蔵の会 (亀崎郷土文化協議会) 会員による解説・案内

第一回 11月7日(土) 14時～

第二回 12月5日(土) 14時～

亀崎の児童・教員と、平塚ら版画家との交流の経緯や作品についての解説を行います。戦前に行われていた先進的な情操教育を知るきっかけにいかがでしょうか？

お申込みは立川美術館まで。※当日参加可

屋敷カフェ

美術館に隣接する登録文化財の屋敷「作右衛門屋敷」の中でご休憩いただけます。季節折々の庭をながめながらごゆっくりお過ごしください。



車 知多半島道路「阿久比IC」を降り
県道46号線経由で約15分
駐車場15台
電車 JR武豊線「亀崎駅」下車
徒歩7分



Homepage



instagram

〒475-0023 愛知県半田市亀崎町6-81
TEL 0569-29-5897
FAX 0569-84-2017
E-MAIL info@tatekawa.org
H P <http://www.tatekawa.org>



一般財団法人 立川内匠会

立川美術館